令和5年3月25日発行

奈良県社協ホームページ
https://www.nara-shakyo.jp/

奈良ボランティアネット
https://www.naravn.jp/

奈良県社会福祉協議会 広報紙

ふれあいネットワーク

奈良県 福祉だより

2023
NO.560

CONTENTS

P 2-3【特集】インタビュー
この人に逢いたい! 聞きたい!話したい!
「ほっと・はーと・なら」
『共食と食育、様々な学びを通してこども達の生きる力を育む』
～こども達の居場所づくり～
特定非営利活動法人(NPO)
せいじゅんたすけあいこども食堂
代表理事 乾 真理(いぬい まり)さん
常務理事 渕野 邦彦(ふちの くにひこ)さん

P 4-5
奈良県社会福祉大会

P 6-7
令和5年度奈良県社会福祉協議会
事業計画概要

P 8
令和５年度
奈良県福祉人材センター研修計画のご案内
あなたのキャリアと福祉職場のサービス向上を応援します!

P 9
福祉人材センターの活動をご紹介
「福祉・介護のお仕事」のリアルな魅力を発信中

P 10
奈良県中央善意銀行へご寄付・ご寄贈ありがとうございました。
奈良県社会福祉協議会賛助会員報告
社会福祉法人福利厚生センターのご案内
『奈良ソウェル・クラブ(地方事務局)』は、福祉・介護事業所の従業員の福利厚生を支援します。

P 11
情報
赤い羽根共同募金
令和4年度共同募金運動にご協力をありがとうございます。
奈良県共同募金会の取り組み

● この広報紙は、再生紙を使用しています。
● この広報紙は、共同募金の助成金を受けています。

せいじゅんたすけあいこども食堂
『共食と食育、様々な学びを通してこども達の生きる力を育む』

SDGs ～こども達の居場所づくり～

この人に逢いたい！聞きたい！話したい！「ほっと・はーと・なら」

奈良に縁のある多彩な分野で活躍されている方々にスポットをあて、活動への熱い想いと「福祉（幸せ）」についてお話しをお伺いするこの特集。

今回は、地域の中でこどもが活躍できて、安心できる居場所づくりをされている特定非営利活動法人せいじゅんたすけあいこども食堂代表理事の乾真理氏、常務理事の渕野邦彦氏にお話しを伺いました。

特定非営利活動法人（NPO）
せいじゅんたすけあいこども食堂

「こどものキラッと光る特技を発揮できる居場所づくり」
共食と食育、様々な学びを通じてこども達の生きる力を育むことをコンセプトに2018年から任意団体として活動スタート。

代表理事　乾（いぬい） 真理（まり） さん ／ 常務理事　渕野（ふちの） 邦彦（くにひこ） さん

Q せいじゅんたすけあい子ども食堂の活動について教えて下さい。

A こどもから大人までが楽しめる交流と食事を提供しています。学生ボランティアのおにいさん、おねえさんと一緒に交流して、こども達が様々な人とコミュニケーションを取れるような機会を作っています。その他に学習支援やプログラミング教室、タブレットイラスト講座等の様々な企画を用意することで、こども達のキラッと光る得意なことを披露したり、伸ばしたりすることができる居場所になっています。学校や家族の中以外で、得意な事を見つけてもらう場、色々なことを経験できることで視野が広がる場となって欲しいという想いで日々活動しています。また、渕野さんが理事のメンバーとして関わってもらうことで、自治会と連携した活動等多方面で活動が広がっています。

Q 乾さんと渕野さんはどのようにお知り合いになられたのですか？

A

同じ自治会の仲間です。こども食堂の活動をしていた当初、自治会長の渕野さんが偶然こども食堂の活動に興味を持ち、声をかけていただいたのがきっかけです。最近では、英語や手話が学べる落語講座、こども食堂での防災訓練企画に自治会メンバーが共に参加することで、「自治会×こども食堂」が連携した地域一体のイベントにもなっています。

Q 活動を始めた“きっかけ”を教えて下さい。

A テレビでこども食堂の特集を観たのが最初のきっかけです。「自分の周りにもこども食堂を必要としている人がいるのではないか」という想いと家族の後押しもあり、活動を始めました。最初は「こどもたちが来てくれるかな？」という想いでした。活動を通じて、たくさんのこどもが気軽に参加できる居場所になりましたが、その中でも「学校に行きづらい」「家族とコミュニケーションを取れていない」というこどもと出会うようになりました。そこから、こども達が地域の中でコミュニケーションを取り合って、持っている力を発揮できるような居場所を作っていこうと活動しています。活動を続けることは大変ですが、様々な人や団体からも応援していただきながら活動を続けています。

Q どのような方や団体から応援がありますか？

A 多くの企業や団体、個人から応援をいただいています。地域の中では、「気軽に寄付できるように」と近隣のコンビニによる寄付ボックスの設置や近隣の企業による荷物運搬の手伝い等していただいています。また、企業全体で応援していただくこともあり、社内や関連企業に向けて広報誌を活用した“寄付”や“ボランティア”の呼びかけ等、様々な形で応援を受けています。長く活動を続けていくためにも「ヒト・モノ・カネ」は大切で、たくさん応援いただけることは大変ありがたいです。

Q 様々な活動にかける想いを教えて下さい。

A 将来を作っていくのはこども達であり、こどもの生きる道を探す手助けをしたいと考えています。そのため、こども食堂に参加するこども達だけでなく、ボランティアに来てくれている学生スタッフにも「何かしたい！」という想いがあります。そこで、社会で活躍している専門職や経営者の方を招き、学生スタッフも含めたこども達と語り合う機会を作っています。将来の目標となるような話しにつながることもあり、ボランティアに来て良かったと思ってもらうようにしています。

Q 今後の展望を教えて下さい。

A 自分達の団体だけでなく、他のこども食堂団体にも運営のノウハウを共有することで、広くこども食堂の活動が浸透していって欲しいと思います。見守り活動をしていた時に、最初は挨拶を返してくれなかったけれど、継続的に関わることで挨拶を返してくれるようになったという出来事がありました。このように、こども食堂を通じてコミュニケーションの幅が広がってほしいと考えています。私たちのこれからの活動を支える後継者も必要と考えていて、今こども食堂を利用している子や学生スタッフが大きくなった時にまた戻ってきてスタッフになってくれるような循環があると嬉しいなと思っています。

SDGs

『持続可能な開発目標』（Sustainable（サステナブル） Development（デベロップメント） Goals（ゴールズ））の略称は、2015年9月の国連サミットで「加盟国の全会一致で採択」された“2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標”のことで、17のゴールと169のターゲットから構成されており、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。（※外務省 HP より）

令和４年度 奈良県社会福祉大会 開催

去る11月28日（月）、奈良県社会福祉総合センターにおいて、令和４年度奈良県社会福祉大会を開催しました。

当日は、県内各地より市町村社協役職員、社会福祉施設役職員、民生児童委員、ボランティア活動者など県内社会福祉関係者約３５０名の参加を得て、永年社会福祉活動に功績のあった方々への表彰顕彰と活動発表を行いました。

式 典

表彰式典では、辻村泰範副会長の開会の辞、続いて主催者を代表して、荒井正吾会長から「障害福祉の条例の制度を２月に予定しています。福祉を提供する人、それを受ける人、すべての人が一緒に困難に立ち向かい、それぞれの気持ちが通じ合うことが大切だと思います。福祉に関わる皆様のこれからのご健勝ご発展を祈念申しあげます。」と、開会の挨拶を行いました。

また、ご来賓の、岩田県議会議長、奈良県町村会の車谷会長よりご祝辞を頂戴し、奈良県知事表彰では４６名２団体の方々が、奈良県社会福祉協議会会長表彰では３２０名１３団体の方々が、表彰を受けられました。

式典後、知事表彰と県社協会長表彰を受賞された方々を代表して、天理市のひまわり保育園西さんと奈良市ボランティアの安田さんより、日ごろの活動を発表していただきました。

お集まりの皆様方、どうかご自宅や職場に戻られましても、それぞれのお立場で、地域福祉の充実に向け、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

社会福祉大会は、小西満洲男副会長の閉会の挨拶で締め括られました。

活動発表

奈良県知事表彰（社会福祉事業功労者）

ひまわり保育園　西（にし） 和子（かずこ）さん

ひまわり保育園の活動について

社会福祉法人しののめ会ひまわり保育園は、昭和５７年に開園し今年で４０周年を迎えた、天理市にある保育園です。本園・分園・第２園舎・一時保育と３ヶ所で保育をしています。

当園では〈「食を営む力」の基礎を培う保育〉を大切に、手作りの給食とおやつを提供しています。

また、玉ねぎやさつま芋等の苗植え・収穫、夏野菜の栽培、焼き芋やさんま焼きパーティーを行っています。こうした保育を通じて豊かな感性や生きる力の基礎を育むことを目指しています。

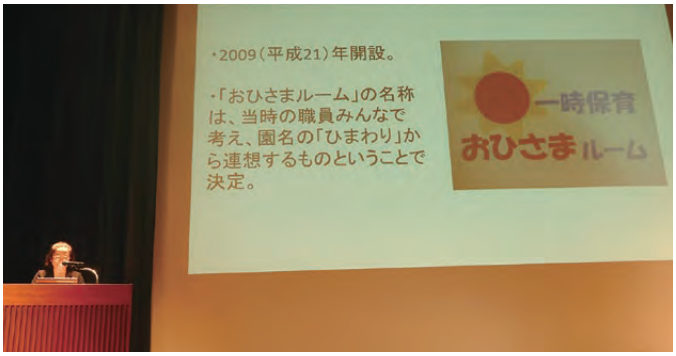
次に、園名の「ひまわり」から連想して名付けた「おひさまルーム」についてご紹介します。

天理市内在住の、生後６ヶ月から就学前の子どもたちが対象で、保護者の仕事や通院・病気療養、集団生活に慣れさせたいなどといった理由で一時保育を利用されています。１・２歳児の利用が多く、初めて保護者と離れて集団生活を経験する子どもや幼稚園児が幼児と過ごす貴重な機会となっています。

また、保護者への支援として、子育てに関する不安を受け止め、子どもの発達についての相談に応じています。

一時保育の担当になって、最初は不安や戸惑いがあったが、クラス担任の経験を活かして年齢にあった援助を行い、保護者とも誠実に接するよう心掛け、クラス担任とはちがったやりがいを感じています。

今後の課題として、発達が気になる子どもの保護者に対してどのように伝え支援を行っていくか。また、待機児童は減少傾向ではありますが、まだまだおられるので、待機児童が解消され、一時保育もたくさんの方々に利用いただけるようになればと思います。



奈良県社会福祉協議会会長表彰（ボランティア活動功労者）

奈良市ボランティア　安田（やすだ） 美紗子（みさこ）さん

精華地区ボランティア活動について

私の住む精華地区は奈良市の南部に位置し天理市に隣接した、自然豊かな地域です。テレビ番組でもよく紹介される紅葉の美しい正暦寺があります。

地区社協って何だろう？何をしたらいいのだろう？その疑問が、精華地区福祉活動計画策定のきっかけになり、策定委員会のメンバーとなりました。

私は、PTA活動にはじまり、婦人会、女性防災クラブ、日赤奉仕団等に関わりながら、常に地区社協の構成委員として過ごしてまいりました。

主な活動に、２年に１度の精華地区ふれあい夏祭りがあります。第１回目は、平成７年精華小学校運動場にて開催、ビールケースに板を乗せ、バックは、サッカーゴールといった手作り満載の舞台です。回を重ねるごとに、舞台も大きくなり、たくさんの方々に協力をいただきました。お盆の開催が定着し、お楽しみ大抽選会もあり参加人数も５００人超えました。

令和元年は、小さな子どもたちに様々なゲームや紙芝居を行いました。

その後は残念ながらコロナ禍で開催できていません。早く復活できますように。

精華地区ふれあい敬老会では、劇、漫才、コーラス、手品といった様々な演出があり、みんな毎日練習していました。

また、日赤奉仕団として、毎年募金活動を行い、地域の皆さまからのご協力をいただき、さまざまな場所に義援金をお渡ししています。

これからも精華地区の皆さんとともに色々なことに挑戦していきたいと思います。もちろん、どんなことも楽しみながら頑張ります。

◆荒井知事（荒井県社協会長）活動発表コメント

本日受賞された皆さんを代表して、ひまわり保育園の西さんと奈良市でボランティアをされている安田さんの活動を聞かせていただきました。

奈良県の特殊出生率は全国で最下位です。県内で働く女性が増えてきているからだと思います。昨年の出生率は、全国３５位。前年度からの上昇率はプラス０．０２ポイントでした。

その理由は、保育環境がよくなっていること。以前に比べて、女性が働きやすい環境、子育てしやすい環境になってきているからだと思います。

出生率が比較的高い府県は、コロナ禍においてもまん延防止対策をあまり行わなかったことが影響していると統計に出ています。女性の雇用をストップさせなかったことが、出生率に影響したと結果が出ています。

子どもをどのように育てるか？「自分を敬い尊敬する＝自尊心」と「他人を認める＝悲観心」。他人を認めることはなかなか難しいことで、ずっと考えていましたが、先日、天理市にある『なら芸術文化村』を訪問されたイギリス美術協会の理事長が、「子どもを『遊ばすこと』『音楽を楽しませること』を通じてしか心を養えない。発達障害のある子どもにバイオリンを聞かせると神経の発達が促され思想を抑制する。このような取り組みは他に行っているところがなく続けてください。」と高く評価いただきました。

「食べる」ことを重視されていることはとてもいいと思います。美味しいものを食べている時の子どもたちは生き生きとしています。

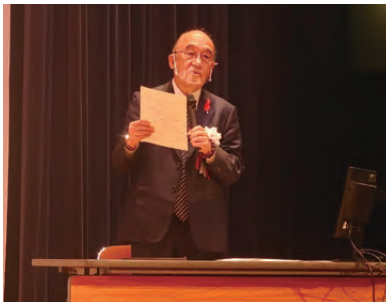
安田美紗子さんの取り組みですが、「集まって話し合って情報交換をする。」ということは非常にいいと思いました。

奈良県県警本部長が①防犯について、振り込み詐欺の固定電話に登録されていない番号からかかってきたら拒否する。「あなたの電話は録音されています。」とアナウンスが流れると抑制になるとおっしゃっていました。会合をされる時は、そういった会話もしていただきたい。

②通学路について、奈良県では登下校時での事故はないですが、通学路が危ないと感じておられる方も多いと思います。その場合は、学校ではなく、市町村長にお知らせください。

子どもの遊び場についてですが、奈良県には「まほろば健康パーク」がございます。地域の小さな遊び場「児童公園」は、昔はたくさんありました。色んな遊びができる場所をもっと造っていきたいと思っています。子ども食堂について、奈良県内には現在８８ヶ所ございます。小学校区に１ヶ所作ろうと思っています。

自治会は大きな組織ですので、自治会と県で協議をする場を設け、色んな活動に対して助成できないかと考えています。地域でボランティア活動されている方々をどのように応援していくか考えています。



現場の活動を通じて、勉強させていただきたいと思います。

これからも地域の活性化にご活躍ください。

社会福祉法人
奈良県社会福祉協議会

令和5年度

事業計画 概要

令和5年度 会計別予算額

△…減（単位：千円）

会計区分	本年度予算額(A)	前年度当初予算額(B)	対前年度比較	
			増減額(C)	率(A/B)%
一般会計	1,103,065	1,125,665	△22,600	98.0%
生活福祉資金特別会計	3,077,137	4,896,218	△1,819,081	62.8%
生活福祉資金貸付事務費会計	296,853	378,817	△81,964	78.4%
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	144,000	142,000	2,000	101.4%
臨時特例つなぎ資金会計	6,500	6,900	△400	94.2%
合　計	4,627,555	6,549,600	△1,922,045	70.7%

※事業計画・会計別予算額の詳細は、本会ホームページにてご確認下さい。
https://nara-shakyo.jp

Ⅰ 基本方針等

少子高齢･人口減少社会の進展や、介護、認知症、子育て、障害、虐待、生活困窮、ひきこもりなどの社会問題を背景に、地域における生活･福祉課題は多様化･複合化しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響（以下、コロナ禍）で顕在化した社会的課題や生活困窮の深刻化への対応が問われています。

併せて、長引く物価高騰により、流動的で不確実な社会状況が続くなか、「つながり、支えう」ことや、「多様性を認め合い、一人ひとりが大切にされる」ことの真価が改めて問われています。

そこで本会では、これまで培ってきた福祉関係者との協働を基盤に、自ら主体的に行動して地域の福祉力の本質に迫り（深化）、多様な主体とともに新たな実践（進化）を生み出しながら、「地域共生社会の実現」を目指します。

Ⅱ 重点活動方針と令和5年度の重点取組

1 誰もが参加の機会と役割のある支え合う地域づくりの推進

県社協は、誰もが参加の機会や役割を持って暮らしていくことのできる「住民が主役の地域づくり」を推進します。

また、暮らしにくさを抱えた人を含めて全ての人が認め合い、ともに支え合える地域社会の実現に向けて、福祉理解を広げ、多様な地域活動支援を進めていきます。

さらに、多様な主体と連携･協働して、災害にも強いまちづくりに取り組みます。

1. 支え合う福祉コミュニティづくりの推進

予算額：　13,742千円

① なら小地域福祉活動サミット 2023
② 多様な地域活動実践の集約・発信
③ こどもの未来応援プロジェクト
「奈良こども食堂サポート事業」

2.福祉理解の広がりと住民参加の促進

予算額：　60,833千円

① 福祉教育の推進とボランティア・市民活動の活性化支援
② 県民生児童委員連合会との連携・協働
③ 県ボランティア連絡協議会との連携・協働

3. 地域共生社会の実現へ向けた地域福祉推進体制の充実

予算額：　8,400千円

① 福祉の奈良モデル実践支援
② コミュニティソーシャルワーカーの育成・配置促進
③ 市町村社協の運営支援と連携・協働

4. 災害時に対応できる仕組みの充実

予算額：　17,728千円

① 市町村相互支援体制整備事業
② ICT活用による災害対応力強化事業
③ 災害支援を担う多様な人材の発掘
④ 奈良防災プラットフォーム連絡会（定例会・協働事業）
【新】⑤ 大規模災害等に備えた体制整備
⑥ 奈良県災害福祉支援ネットワークの運営

5. すこやか長寿センター事業

予算額：　32,698千円

① 情報誌「すこやか・なら」の発行
② ならシニア元気フェスタ
（奈良県高齢者スポーツ文化交流大会）
③ シニア県展（奈良県高齢者美術展）
④ 全国健康福祉祭への選手派遣
⑤ シニア世代の介護のお仕事入門事業
⑥ すこやか長寿センターの運営

2 暮らしのセーフティネットとしての総合相談・生活支援活動の推進

県社協は、生活困窮や社会的孤立など、制度の狭間に陥りやすい方々を受けとめる包括的相談体制の整備と地域生活支援の充実に取り組みます。

とりわけ、コロナ禍により深刻な生活課題を抱えた人が安定した生活を取り戻すことができるよう、継続した相談支援に取り組みます。

1.包括的な相談支援と地域生活支援の充実

予算額：3,831,777千円

① 生活困窮者自立支援事業の受託
② 奈良県子どもの「心と学び」サポート事業（地域型生活・学習支援）の受託
【新】③ 小津こども福祉基金積立金運営事業
④ フードレスキュー事業
⑤ 子育て支援3人乗り自転車貸与支援事業
⑥ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
⑦ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業
⑧ 生活福祉資金貸付事業
⑨ 緊急小口資金等の特例貸付債権管理事業

2.地域における権利擁護のシステムづくりと資源開発

予算額： 42,065千円

① 日常生活自立支援事業
② 高齢者権利擁護推進事業
③ 運営適正化委員会設置運営事業

3. 奈良県交通遺児等援護積立金運営事業

予算額： 5,984千円

① 交通遺児等激励・入学祝金・就職（入学）準備金給付事業
② 交通遺児等交流事業

3 地域の生活課題に対応する新たな活動や仕組みの開発

県社協は、県内の社会福祉法人の連携･協働をさらに進め、制度の狭間にある問題等の解決に向けた取り組みの充実･強化を図ります。

また、県域の関係団体や多様な主体とのネットワークを広げ、県内の地域課題等に対応する新たな仕組みの開発等につなげます。

1.社会福祉法人の連携･協働による取組の拡充

予算額： 3,650千円

① まほろば幸いネット（奈良県社会福祉法人共同事業）

2.地域課題やニーズの集約と多様な協働のテーブルと実践の創出

予算額： 283千円

① 多様な団体との協議・協働の場づくり

4 地域生活を支える専門性の高い福祉サービスの充実と人材育成・定着支援

県社協は、2040年を見据え、人口減少･少子高齢化に伴う複合化･複雑化した課題に対応したサービスを提供できる次世代の人材を育成し、定着を進めます。

また、社会福祉法人が、多様な組織･関係者と連携･協働を図り、地域におけるネットワークの中心となって活動を展開する役割や機能のさらなる充実に向けて支援します。

1.安心で質の高いサービス提供につながる人材の確保と定着支援

予算額： 388,068千円

① 福祉人材センター運営事業
② 無料職業紹介事業
③ 福祉の就職・進学フェア
④ 福祉人材定着支援事業
⑤ 福祉・介護人材確保・定着総合推進事業
⑥ 介護従事者確保事業
⑦ 介護福祉士修学資金等貸付事業
⑧ 保育人材バンク運営事業
⑨ 保育士修学資金貸付等事業

2.次代を担う人材の育成とキャリア形成･定着支援

予算額： 62,304千円

① 福祉研修運営事業
② 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
③ 人材育成・定着支援研修
④ スキルアップ研修
⑤ 福祉・介護特定業務従事者研修
⑥ 介護支援専門員関連研修

3.社会福祉法人（社会福祉施設等）への支援の充実

予算額： 5,502千円

① 7施設種別協議会・1在宅事業協議会との連携・協働
② 独立行政法人福祉医療機構退職共済の業務受託
③ 社会福祉法人福利厚生センターの業務受託

5 県社協の組織・経営基盤の充実・強化

県社協は、法人の使命や目標を達成するため、経営基盤の充実強化と効率的な業務執行ができるよう、事務局機能の充実強化に取り組みます。

1.経営基盤の強化と事務局機能の充実

予算額： 154,521千円

2.事務局組織を支える人材の育成強化

3.安定した財源確保の取組強化

奈良県福祉人材センター
研修事業　実施計画表

令和５年度 研修のご案内

あなたのキャリアアップを応援します！

奈良県福祉人材センターでは、利用者の立場に立った質の高いサービスが提供されるよう、社会福祉事業従事者等を対象とした各種の研修を体系的に実施しています。

詳しくは、本会ホームページをご覧いただくか、下記までお問い合せください。

開催時期等については変更が生じる場合がありますのでご了承ください。（決定次第ホームページに掲載します）

	福祉研修	開催時間	日数	対象者	募集時期
キャリアパス対応生涯研修課程	初任者コース	5月1日（月）、16日（火） 9月14日（木）、15日（金）	4日間	入職後３年未満の職員	3月
	中堅職員コース	10月26日（木）、27日（金） 11月8日（水）	3日間	・担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員（入職後概ね３～５年程度の節目の職員） ・現にﾕﾆｯﾄﾘｰﾀﾞｰ等に就いている職員	8月
	チームリーダーコース	6月13日（火）、14日（水） 27日（火）	3日間	現にチームリーダー、主任、フロアリーダー等に就いている職員（予定者含む）	3月
	管理職員コース	8月22日（火）、23日（水） 9月5日（火）	3日間	現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員（予定者含む）	5月
人材育成・定着支援研修	OJT担当者基礎研修	6月22日（木）	1日間	新任職員や後輩の育成・指導を担う職員（予定者含む）	3月
	OJT担当者実践研修	9月28日（木）、12月14日（木）	2日間		5月
	ストレスマネジメント研修	11月以降調整中	1日間	主任、フロアリーダー、事務長など、管理的な立場にある職員	10月
スキルアップ研修	福祉サービスマナー研修	5月23日（火）	1日間	福祉サービス提供現場におけるリーダー職員等	3月
	対人援助コミュニケーション力向上研修	11月6日（月）、12月4日（月）	2日間	対人援助業務の経験を概ね３年以上有する職員	8月
	利用者理解力向上研修	11月頃調整中	1日間	利用者の相談援助業務の経験を概ね３年以上有する職員	8月
	アンガーマネジメント基礎研修	9月25日（月）	1日間	社会福祉施設・事業所等の職員	5月
	アンガーマネジメント実践研修	11月17日（金）	1日間	・アンガーマネジメント基礎研修の受講生 ・指導的立場にある職員	8月
福祉・介護業務従事者特定研修	行動援護従業者養成研修【奈良県指定】	未定	4日間	行動援護サービスを提供する県内障がい福祉サービス事業所の従事者（予定を含む）	未定
	生活支援体制整備推進研修【奈良県委託】	未定	半日×2日間	・県内市町村の生活支援コーディネーター（予定者含む）、市町村行政の当該事業担当職員	未定

	ケアマネジャー研修	開催時期	日数	募集時期
介護支援専門員養成関連研修	ケアマネジメント習熟研修	令和6年3月	1日間	令和6年2月
	介護支援専門員実務研修【奈良県指定】	令和6年1～6月	約13日間＋動画視聴	12月
	介護支援専門員【奈良県指定】更新研修／専門研修（実務経験者対象）専門研修課程Ⅰ	令和5年5月～8月（1コース予定）	約11日間＋動画視聴	4月
	専門研修課程Ⅱ	令和5年8月～令和6年3月（8コース予定）	約7日間＋動画視聴	5月
	更新研修（実務未経験者対象）・再研修【奈良県指定】	令和5年9月～令和6年3月（2コース予定）	約7日間＋動画視聴	7月

お問合せ先
社会福祉法人
奈良県社会福祉協議会　福祉人材センター
〒634-0061　奈良県橿原市大久保町 320-11
TEL：0744-29-0130　FAX：0744-29-6114
ホームページ
https://nara-shakyo.jp/

福祉人材ニュース

福祉人材センターの活動をご紹介

「福祉・介護のお仕事」のリアルな魅力を発信中

私たち福祉人材センターは、「福祉って何？」「介護の仕事って難しい？」といった『？』を解決し、一人でも多くの方々に福祉・介護の道に進んでいただけるような活動を日々、行っています。

今回は、読者の福祉関係者の方々への活動周知と共に、今後のご協力をお願い出来ればとの思いを込めてご紹介させていただきます。活動を通して、地域の方に事業所を知っていただくきっかけとなり、地域貢献活動や地域共生社会の実現につながればと願っています。

福祉のお仕事魅力発見セミナー

これからの社会を支える小中高生を対象に、学校へ訪問し出前授業を行っています。

講師は近隣の福祉・介護事業所職員の方々に協力を依頼し、学校の意向（キャリア教育・福祉教育等）に合わせて授業を展開しています。現場で働く職員の方々の生の声で、福祉・介護のお仕事について分かり易く伝えていただいています。

福祉・介護の仕事は沢山の種類があること、また講師の職員さんがなぜこの仕事を選んだのか？など、ざっくばらんなお話で大変好評をいただいています。

参加された生徒・教員の声

・障害のあるないに関係なく、お互い違いを認め合って、みんなが安心して暮らせるようになればいいなと思います。（中学2年生）

・体験を通して、車いすを利用している方の立場になり、バリアフリーについて考える機会にもなった。（教員）

お話のあとは体験メニューを行うことがあります。

ただ、体験して「楽しかった」「怖かった」で終わるのではなく、車いす体験や高齢者疑似体験など、日常生活で不便を感じている方の思いを知ることで、思いやりの心や、助け合いの精神が育まれるとともに、将来の福祉・介護の担い手として活躍していただけることを目的に行っています。

福祉の職場体験

高校生（高校3年生は除く）以上の学生の方、福祉関係の仕事に興味のある方、就職をご希望の方を対象に、県内の福祉職場で、お仕事体験をしていただいています。

ご協力をいただける事業所を募り、事前に作成いただいたプログラムに則って体験します。１日のみ～複数日にわたる体験を行い、『福祉の職場ってどんなところ？』『自分にできるかな？』・・・など、求職者の疑問や不安の解消に役立っています。

参加者の声

・ご入居者様の性格やどの程度の介護が必要なのかをしっかりと判断され、介護にあたられている様子に感動しました。
（女性・39歳）

・2日間、あっという間に終わってしまって寂しいです。色々な仕事をさせていただいて楽しかったです。
（男性・17歳）

ご寄付・ご寄贈 ありがとうございました。

地域福祉・ボランティア活動振興のため、奈良県中央善意銀行へご寄付をいただきました。
（令和4年11月12日～令和5年2月10日受付順、敬称略）

金銭預託

- 株式会社南都銀行
- 一般財団法人近畿陸運協会
- 株式会社キリック
- 奈良県退職女教師の会
- 株式会社吉田稔商店
- 第一生命労働組合奈良支部
- 富国生命保険相互会社 奈良支社
- 公益財団法人森田記念福祉財団
- 公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会奈良県協会

奈良県中央善意銀行ではご寄付について以下の活動等に役立てています。

- 地域福祉活動への助成
- 奈良こども食堂ネットワーク
- 県内の交通遺児支援の取り組み
- フードレスキュー事業　等

株式会社南都銀行
寄附金贈呈式

生命保険ファイナンシャル
アドバイザー協会
奈良県協会寄附金贈呈式

奈良県中央善意銀行寄付に関するお問い合わせ・受付窓口

奈良県社会福祉協議会　総合ボランティアセンター
福祉教育・ボランティア活動係（奈良県社会福祉総合センター内）
〒634-0061　橿原市大久保町320-11
TEL：0744-29-0155　FAX：0744-26-0234

令和4年度　奈良県社会福祉協議会 賛助会員

多くの方々から地域福祉活動推進のため賛助会費を戴いております。ご支援・ご協力ありがとうございます。

令和4年4月1日～令和5年2月28日（敬称略・五十音順）

- 株式会社アクティブエナジー
- 株式会社アドエモ
- 株式会社柿の葉すし本舗たなか
- 株式会社春日
- 株式会社寺田ポンプ製作所
- 株式会社トイント
- 株式会社ナカガワ
- 株式会社南都銀行神宮前支店
- 株式会社ニトリ法人＆リフォーム事業部　堺
- 株式会社保険ワールド田原本支店
- 株式会社ヤナギビジネス
- 河村繊維株式会社
- 関西電力送配電株式会社　奈良支店
- 小山株式会社
- 佐藤物産株式会社
- 佐藤薬品工業株式会社
- 三和澱粉工業株式会社
- 全国共済農業協同組合連合会奈良県本部
- 大和ガス株式会社
- 大和ハウス工業株式会社　奈良支社
- 高橋　清治
- 東洋羽毛関西販売株式会社
- 奈良県生活協同組合連合会
- 奈良県年金受給者協会
- 奈良中央信用金庫
- 松塚建設株式会社
- 松田電気工業株式会社
- 三笠産業株式会社
- 大和信用金庫

ソウェル・クラブは 福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

「安心して働ける働きやすい魅力ある職場づくり」のため、健康・生活・余暇・啓発などの分野で様々なサービスの提供。

◇加入要件	社会福祉事業または介護保険事業を経営する者
◇加入対象事業	社会福祉事業、社会福祉事業以外の介護保険事業
◇加入対象者	社会福祉事業等を経営する法人内の役職員全員（非常勤職員含む）
◇会員の種類及び掛金	第1種契約対象職員…1人あたり毎年1万円 第2種契約対象職員…1人あたり毎年5千円 （利用サービスが限定されます）

全国会員数
27.6万人
奈良県会員数
2.3千人
（2022年12月末現在）
会員募集中

◇ソウェル・クラブの１０大サービス◇

- **生活習慣病予防健診費用助成**（4,000円助成）
- **慶事のお祝い品**（結婚・出産・入学）
- **弔慰金**（会員・配偶者死亡）
- **永年勤続記念品**　勤続5～30年及び35年以上の退職時に贈呈
- **健康生活用品給付**　毎年全会員に給付
- **資格取得**　5,000円相当の記念品
- **各種講習会**　受講料・教材費無料
- **ソウェルクラブ“クラブオフ”**　ホテル、レジャー施設、飲食店など20万件以上の優待サービスが利用可能
- **クラブ・サークル活動助成**　1人あたり1,000円助成
- **会員交流事業**（都道府県ごとの各種イベント）割安な参加費

資料請求は、社会福祉法人 福利厚生センター（TEL 0120-292-711）まで、お電話でお問い合わせください。
サービスの内容等詳細は、「ソウェルクラブ（https://www.sowel.or.jp）」で検索ください。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金 情報

令和４年度赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございます!!

令和4年度募金実績(途中集計)　155,329,421円

令和５年３月３日現在

内訳		
一般募金		110,108,740円
歳末たすけあい募金	(地域歳末)	36,886,990円
	(NHK歳末)	8,333,691円

お寄せいただきました寄付金は、子ども、高齢者、障害児・障害者、生活に困窮する人などを支援する民間の様々な福祉活動※に役立てられます。

また、甚大な災害に対応できるよう募金総額の3%を限度に積み立てる「災害等準備金」は、災害発生後の「災害ボランティアセンター」や「復興支援センター」の設置・運営資金として活用されます。

※募金の使途の詳細については、赤い羽根データベース「はねっと」(http://hanett.akaihane.or.jp)をご覧ください。

共同募金運動の推進に貢献されている企業・個人に、厚生労働大臣表彰が授与されました

共同募金運動の推進に関する功績が特に顕著な奉仕団体として、株式会社杉本カレンダー奈良工場様、奉仕者として、平群町共同募金委員会監事の城垣圭一郎様が厚生労働大臣から表彰され、令和５年１月６日(金)、奈良県文化会館において表彰状が伝達されました。

株式会社杉本カレンダー様には、奈良県共同募金会が実施しているカレンダーチャリティーバザーに平成２１年度から毎年数多くのカレンダーをご寄贈いただいており、チャリティーバザー継続の大きな力となっていただいています。

城垣圭一郎様は、平成１９年から現在まで、平群町共同募金委員会監事として、ご自身の税理士という職業の知識を活かして、委員会の財務を監査し、ご意見・ご指導をいただきながら、委員会の円滑な運営に尽力していただいています。

西門 俊明様
株式会社杉本カレンダー
常務取締役

城垣　圭一郎様
平群町共同募金委員会監事

令和5年度実施事業への助成のご案内

○公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成

- 対　象　団　体：社会福祉法人・公益社団法人・公益財団法人・特定非営利活動法人
- 対　象　事　業：福祉車両、送迎用車両、特殊浴槽等備品の購入又は施設の設置、増改築及び各種修繕工事等で、各種施設の運営に必要なもの。
- 申請受付期間：令和5年4月3日(月)～5月10日(水)【当日消印有効】
- 助成金申請額：当該事業経費総額の3/4以内

○ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援助成

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人々を支える様々な民間の地域福祉活動を応援します。

助成内容等、詳しくは奈良県共同募金会ホームページをご覧ください。

社会福祉法人
奈良県共同募金会

〒634-0061 橿原市大久保町 320 番 11　奈良県社会福祉総合センター 4F
TEL：0744-29-0173　FAX：0744-29-0174
E - mail：info@nara-akaihane.com　http://www.nara-akaihane.com

令和５年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で充実補償をご提供します！

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp

社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

（賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険）

❶ 基本補償（賠償・見舞費用）

保険期間１年

▶保険金額

		基本補償（A型）	見舞費用付補償（B型）
賠償事故に対応	身体賠償（１名・１事故）	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償（１事故）	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
	うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失（期間中）	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償（期間中）	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用（１名につき）	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- ●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
- ●オプション2 ●施設の医療事故補償
  - ・医務室の医療事故補償
  - ・看護職の賠償責任補償
- ●オプション3 ●施設の借用不動産賠償事故補償
- ●オプション4 ●クレーム対応サポート補償
- **●オプション5 ●施設の感染症対応費用補償**

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

❶休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
❷消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
❸感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

❷ 個人情報漏えい対応補償　❸ 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

（普通傷害保険）

❶ 入所型施設利用者の傷害事故補償
❷ 通所型施設利用者の傷害事故補償
❸ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 職員等の補償

（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険）

❶ 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
❷ 役員・職員の傷害事故補償
❸ 役員・職員の感染症罹患事故補償
❹ 雇用慣行賠償補償

P5

プラン4 法人役員等の補償

（役員賠償責任保険）

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者　社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店　株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667
受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

（SJ22-12033 から抜粋）

■ 発行所／社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会　〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11　TEL.0744-29-0100(代)　FAX.0744-29-0101
■ 編集者／事務局長　森田 英之　■ 発行／年4回　■ 定価／1部10円(会員の購読料は会費に含む)　■ 印刷所／やまとびと株式会社